

ノロウイルス被害を起こさないために、何をすべき？

①発生原因のほとんどは人から

2014年1月13日に静岡県浜松市の学校給食において提供された食パンが原因で、1100人を超すノロウイルス集団食中毒が発生し、この食パンを製造していた工場の最終検品に従事していた女性社員4名や女子トイレなどからノロウイルスが検出されました。

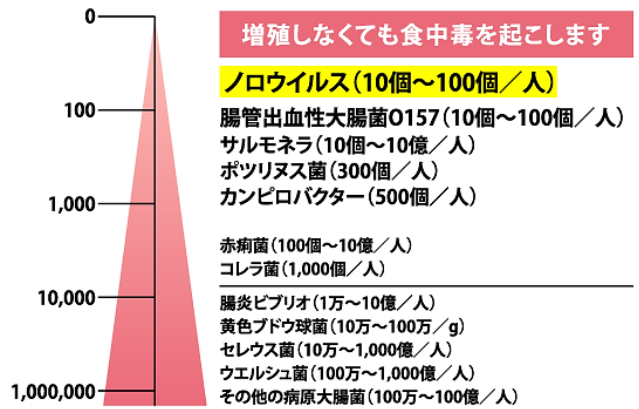
このように、ノロウイルスによる食中毒事故の原因は、もはやカキなどの二枚貝による感染ではなく、食品を介して**人から人へ感染するケース(二次汚染)がほとんど**です。食品安全委員会によりますと、**ノロウイルス感染者の中で30%は不顕性感染**(感染していても症状が出ない)者であり、また、症状が出ている人が治まって正常な状態になってからでも、通常1週間程度、長い場合は**1カ月近くウイルスの排出が続く**ことがあるようです。

②ノロウイルス感染が起きやすい理由とは

カンピロバクターやサルモネラなどの食中毒菌の大きさは0.3~5 μ m(マイクロメートル:mmの1,000分の1)程度に対して、ノロウイルスは30nm(ナノメートル:mmの100万分の1の単位)と約100分の1です。これは、ヒトを地球の大きさにしたときに、**ノロウイルスはネズミくらい**の大きさに相当する程度です。

なお、感染者の糞便からは**1g当りに含まれるノロウイルスは約10億個**と、その数には驚かされます。

にもかかわらず、発症するに要する摂取量は10個からと、ごく少量でも感染に至ってしまうことから、いかに防除するのがむずかしいかが想像頂けると思います。



(出典:「食の安全と公衆衛生」ノロウイルス資料より抜粋)

③防除するには

食品安全委員会の報告ではノロウイルスを不活化(やっつける)のために200ppmの塩素系消毒剤でふき取る事が示されています。しかし、この行為だけを製造現場で行うことでノロウイルスの脅威から逃れることはできるのでしょうか。

目に見えない、少量で悪事を働く「敵」と戦うのですから、幾つもの**予防的対策を組み合わせる**ことで脅威を限りなくゼロにする努力を続けることでしか、それは実現できないと考えます。また、各事業所様とも既にノロウイルス対策ルールを決めておられるとは思いますが、そのルールは果たして全従業員に周知させ、守ってもらってますでしょうか？ また、守れるような環境を整えていますか？まずは、**「従業員の意識改革とルールを守る(躰)の環境整備」**が重要と考えます。以下、防除対策を見直す際に留意すべき項目について、主な項目を以下にお示します。

- ・決められたルールを守る従業員教育の遂行
- ・既存の手洗い殺菌ルールが、無理なく守る事ができる内容かの確認と必要ならばルール改訂
- ・保菌者が確定した場合の社内対応ルールの整備
(体調不良者の対応、場内での嘔吐・排泄時、家族の感染発覚時など)
- ・入場前、作業中、トイレ使用后などの各段階で手洗いや殺菌が確実にできる施設整備・備品配置

そして、感染の有無を問わず健康な状態で食品製造に携わっている方は**「自分是不顕性感染なのかも...」という意識で、常日頃の衛生手洗いを励行**することが身近で効果のある防除方法と考えます。



「国の推奨する予防対策」から「アルコールが効かない？違います」

昨今のニュースや報道では「アルコール製剤はノロウイルス対策としては不適」と言われていますが、文部科学省から出されている指針では、そのようなことは書かれていません。一部改変をしておりますが、以下のようなことです。

Q.手洗いをしていれば、アルコール製剤を使用する必要はない？

A.手洗い石けんや手指消毒剤による手洗いでは菌の生育が認められるが、十分な量のアルコール製剤を使用すると、菌の生育はほとんど認められません。すなわち、**アルコールは爪の部分を含め、指先の効果的な消毒に適しているといえます。**ノロウイルス(代替ウイルスとしてネコカリシウイルス)に対するアルコール(※アルコールそのもの)の効果はさほど強いものではありません(それでも、1~2桁以上は減少します)。

(学校給食調理場における手洗いマニュアル、一部改変)

Q.ノロウイルス対策には絶対に次亜塩素酸ナトリウム製剤？アルコール製剤は「ノロウイルス」に効果がない？

A.次亜塩素酸ナトリウム1000~5000ppmを推奨しますが、日常作業では使用しづらい場面もあるでしょう。

アルコール製剤を使用する場合、「ネコカリシウイルス」などを用いた不活化試験で効果のあったものを選定してください。(調理場における洗浄・消毒マニュアルPart1、第2章ノロウイルス対策としての消毒剤、一部改変)

ノロウイルス対策に使用するアルコール製剤には「食品添加物グレード」のものも存在します。食品添加物は「殺菌剤」ではありませんから、「殺菌」や「ウイルスの不活化」などは謳うことができないので、カタログ等にはあいまいな表現しかできていません。しかしネコカリシウイルス等への効果試験を行っているものもあります。こういった情報は取扱いメーカーや販売者がもっていますので、正しい情報を取捨選択して、より御社にあった製剤を選択してみたいはいかがでしょうか？

弊社お勧めの予防のために役立つ薬剤や機材

上記のように次亜塩素酸ナトリウム溶液は国から各種感染症対策に推奨される製剤ですが、サビや腐食など機器へのダメージ、肌荒れや刺激臭などヒトへのダメージを考えると、いつでも手軽に、というわけにはいかない場面もあります。

そこで、弊社では上記の国からの通達に加え、60~80%の濃度のアルコール製剤に触れることによって新型インフルエンザウイルスは死滅すると考えられている(厚生労働省「**新型インフルエンザ(強毒性)対応業務継続計画**」)よりことからネコカリシウイルスを用いた不活化試験でノロウイルスへ効果があつたとされ、かつアルコール濃度が75%あり、食品添加物としても認可されている製剤である「**サイプレスクリア**」を推奨いたします。

さらに、サイプレスクリアを使用するための100ml、500mlのスプレーボトルや1000mlのプッシュボトルをはじめとして、トイレや事務所、製造室など広い空間に、アルコールの短所である引火性を抑えて、霧状にして空間中への噴霧や資機材に吹付けの散布をすることができるレンタル器材「**ディーエス・ミスター**」があります。

また、事務所や学校、保育園、老健施設等にも手軽に使用できる低刺激次亜塩素酸ナトリウム水溶液「**ソリューションウォーター**」を空間中に気化させる「**専用霧化器**」なども取り扱っております。

ウイルス対策をはじめとして、食中毒等への予防対策の詳細にご興味がありましたらぜひご連絡ください。



サイプレスクリア



ディーエス・ミスター



ソリューションウォーター



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社: 岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点: 大阪, 姫路, 岡山, 倉敷, 福山, 広島, 高松, 松山
関東(市川)